

## 《令和8年度の主な事業について》

令和8年度予算案の中で、特に重点としている施策や新規事業につきまして、ご説明申し上げます。

### 〔総務費〕

庁舎建設整備事業において、建設工事の着工並びに多摩産材及び町産材を活用した造作家具類等の購入を予定しております。本事業につきましては、昨今の人件費や建設資材費の高騰により当初の計画を大きく上回る費用を要する見込みとなっておりますが、住民皆様が将来にわたり安心して生活いただくため、災害に強く、安全で機能的な役場庁舎の建設に向け、今後も着実かつ効率的に事業を推進してまいります。

### 〔民生費〕

これまで子育て施策の柱として、15項目の助成を実施してまいりました「子ども・子育て支援推進事業」を大幅に見直し、新たに「こども応援事業」として実施いたします。この事業は、「奥多摩町こども計画」の基本理念となる“「夢を見る」すべてのこどもたちが「夢を語り」「実現できる」町 奥多摩を目指して”を実現するため、『こどものための支援』『こどもへの投資』と位置づけ、主に町内の小・中学校に通う子どもの教育に係る費用を町が直接負担し、子どもの未来を応援する事業として実施するもので、これまでは保護者への助成が主となっていたものを、今後は保護者の子育てに係る支出を抑える子どもへの支援を主として拡充し、現行の事業における保護者から町への申請手続きのフローも見直すことにより、保護者負担の軽減を図るものでございます。

また、放課後の子どもの居場所づくりとして、放課後こども教室事業を引き続き実施するほか、地域交流拠点整備助成事業として、東京都の子供・長寿・居場所区市町村包括補助金を活用し、古里駅前古民家を改修した地域交流拠点施設「kori-mogu(こりモグ)」の2期目の整備事業に係る補助事業を実施いたします。

高齢者施策では、高齢者の交流の場として整備しております「長寿ふれあい食堂」や認知症予防のための集いの場「来るっく〜」のさらなる充実を図るとともに、新たな認知症対策として、認知症の早期発見、早期対応のための認知症検診事業を実施いたします。

障害者施策においては、奥多摩町障害者計画、第8期障害福祉計画、第4期障害児福祉計画の策定を実施し、今後3年間の障害者施策の方向性を定めてまいります。

民生分野においては、地域保健福祉計画の基本理念「一人ひとりがささえあい みんなでつくるまち 奥多摩」を実現し、子どもだけでなく、高齢者も障害をお持ちの方も、すべての住民の方が、明るく健康に暮らしていただけるよう、放課後こども教室、「kori-mogu(こりモグ)」、長寿ふれあい食堂、「来るっく〜」、筋トレ施設「につ古里」などの集いの場、交流の場を整備してまいりました。今後は、これら施設を活用して生まれる集いや交流が、これまで世代ごと、地域ごとという「点」から、それらの垣根を超えた「面」となるよう、さらに施策を充実させてまいります。

《次ページへ続く》